

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	自己 49 外部 18	日常の外出支援について 行事としての外出は年間行事計画を立て実施しているが、日常生活の中での外出(散歩、ドライブ、買い物など)は職員の人員不足、入居者の身体的レベル低下や認知症の重度化により中々実施出来ない状況である。	入居者の皆さんを、散歩、買い物、ドライブなどに出来るだけお連れするようにする。	対応できる職員が1~2名と限られている為その日に全員をお連れすると考えるのではなく少人数、短時間で日を分けて出掛けられるようにする。 前庭の整備も検討しているので整備が出来れば少人数ずつ交代で庭の四季を楽しんで頂けるようにする。 職員増員により(2名増員予定)外出機会を増やせるようにする。	12ヶ月
2	自己 35 外部 13	災害対策について 2階建てであり入居者の身体レベルの低下もある為災害時の避難誘導の困難さがあり職員も不安に感じている。	訓練実施により職員の災害対策の意識を高める。	毎月の職場会で災害に対する学習会や入居者1人1人の対策についての見当を実施する。 いろいろな場面設定をしてその時にどのように対応をしていくか検討する。	12ヶ月
3				避難訓練の実施 ・全員避難の実施 ・夜間想定の実施 (連絡網をまわし実際にグループホームに集合)	ヶ月
4				職員全員ではなく個別で管理者と通報装置の使い方を確認する。 定期的に救命救急法を実施する。 地域近隣の方、地域消防団との連携をしっかりとっていく。	ヶ月
5				夜勤を2人体制にする方向で現在調整をしている。	ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。